

月刊 グラフィックサービス

No.884 7 2025



■ 巻頭企画

ジャグラ創立70周年記念 第67回ジャグラ文化典東京大会 —写真で振り返る文化典—



■ 巻頭言

「妄想力」と「巻き込み力」で、 次の10年を創る

——東京グラフィックサービス工業会三多摩支部 支部長/榎文伸 代表取締役社長 川井 伸夫

■ 特別企画 RMGT・キャレオス・ジャグラ合同 雇用環境整備事業 4/9-4/16 インドネシア・ジャカルタ視察レポート 海外人材の雇用と印尼印刷業界の現状

■ 連載

SPACE-21 広報部
緑友会総会 in 広島・九州印刷情報産業展視察報告
ジャグリストを訪ねて

■ NEWSとお知らせ

第61年度・第1回理事会 議事録抄録
2025年 誌上暑中名刺交換会
中小企業の今とこれから

一般社団法人

日本グラフィックサービス工業会



CONTENTS

■ 巻頭言

- 1 「妄想力」と「巻き込み力」で、次の10年を創る
東京グラフィックサービス工業会三多摩支部 支部長
(株)文伸 代表取締役社長 川井 伸夫

■ 巻頭速報

- 2 ジャグラ創立70周年記念
第67回ジャグラ文化典東京大会
—写真で振り返る文化典—

- 特別企画 RMGT・キャレオス・ジャグラ合同 雇用環境整備事業
4/9-4/16 インドネシア・ジャカルタ視察レポート
- 23 海外人材の雇用と印尼印刷業界の現状

■ 連載

- SPACE-21 広報部
- 6 緑友会総会 in 広島・九州印刷情報産業展視察報告
- 21 ジャグリストを訪ねて

■ NEWSとお知らせ

- 8 第61年度・第1回理事会 議事録抄録
- 16 2025年 誌上暑中名刺交換会
- 18 中小企業の今とこれから

■ NEWSとお知らせ

- 11 ジャグラBBホットニュース
- 20 業界の動き
ジャグラ
東京・中央支部 総会に併せクイックス見学会を実施
東京・文京支部 鬼怒川温泉で総会を開催
北海道地協 釧路で地協総会を開催
- 22 ジャグラコンパス

- 10 雑学コラム③
- 29 事務局日誌と今後の予定

- 10 JaGra グループ保険
- 12 ホリゾン・ジャパン(株)
- 13 富士フイルムグラフィックソリューションズ(株)
- 14 (株)ショーワ
- 15 東京リスマチック(株)
- 表4 リョービ MHI グラフィックテクノロジー(株)

月刊グラフィックサービス 発行趣意

月刊『グラフィックサービス』は、一般社団法人日本グラフィックサービス工業会会員、関係諸団体およびすべてのステークホルダーの皆様に、自社の質的向上に役立ち、知恵と勇気を分かち合うことを目指し発行するものです。

本会の存在意義である人間交流スペースを構築し、社会の多様な要請にタイムリーに対応しつつ、共通の経営課題を持つ会員をネットワーク化し、その交流を積極的に支援するとともに小さいことでも有利となる経営施策も発信する情報ターミナルとなることを理想とします。

またその情報発信手段は誌面にとどまらず、環境に応じて多様な発信方法を検討、遂行することを責務とします。

【概要】

発行回数	月1回 / 年間12回	配布方法	・全会員へ直接郵送
購読料	ジャグラ会員は無償（会費に含む） ・希望企業、団体への有償配布		・ジャグラホームページからのダウンロード

本誌へのご意見・ご要望・記事提供は下記宛にお寄せください

Eメール edit@jagra.or.jp 電話 **03-3667-2271** ファクス **03-3661-9006**

お手紙 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16 〒103-0001 (一社)日本グラフィックサービス工業会 宛

「妄想力」と「巻き込み力」で、次の10年を創る

東京グラフィックサービス工業会三多摩支部 支部長
(株)文伸 代表取締役社長 **川井 伸夫**



趣味：テニス

(株)文伸の創業者・川井捷一郎の名を記憶に留めるジャグリストの方も多いでしょう。

当社は地域密着の印刷会社として60余年——仕事の延長に地域貢献があることがDNAです。

昨年より若輩ながら三多摩支部長を拝命し、本年からは東グラ理事としても活動の場を広げました。

世界的コンサルタント・大前研一氏は「人が変わる方法は三つしかない」と説きます。

時間配分を変える／付き合う人を変える／住む場所を変える。

これまで“地域どっぷり”だった私も理事として多彩な方々との出会い、刺激と学びの連続です。

アントレプレナーシップ × サステナビリティ

三多摩支部が掲げる新スローガンは「アントレプレナーシップとサステナビリティ」。その1つの実証舞台となったのが10年に一度のジャグラ東京大会でした。

6月21日浅草ビューホテルには400名超が来場。原田運営委員長・稲満実行委員長のリーダーシップのもと「東京らしさ」と「業界の今」を凝縮しました。

プレイベント「JAGれ！ミライサミット」では日印産連など多くの団体からの後援を得て、デジタル・デザイン・経営の視座を交差。妄想→計画→巻き込みのプロセスこそ起業家精神の核心だと確信しました。



ジャグラBB



YouTube



【主催】公益社団法人 東京グラフィックサービス工業会 ジャグラ2025東京大会実行委員会

【後援】一般社団法人 日本印刷産業連合会 | 公益社団法人 日本グラフィックデザイン協会 (JAGDA)

公益社団法人 日本印刷技術協会 (JAGAT) | 公益社団法人 埼玉デザイン協議会 (SADECO)

日本 JCMメディア印刷協会 | 印刷産業青年連絡協議会 | 東京平版印刷資材同業会

【協力】印刷タイムズ株式会社 | ニュープリンティング株式会社 | 株式会社印刷出版研究所



“わくわく仕事”の実践

私は大学卒業後、都内印刷会社で営業を7年経験後、米国留学を1年経て家業へ。

コロナ禍であった2021年10月に代表就任をしました。現在代表就任4期目を迎えておりますが、“わくわく仕事”を掲げ、社員の皆さんと共に“ぶんしんへんしん”の挑戦を進行中です。

主な事業として

1. 周年事業・学術出版：自社60周年では様々なプロジェクトを実施。企画から運営までワンストップ支援
2. 動画・Web・イベント：紙だけではなく、“コミュニケーションサポート企業”に
3. 東京島嶼（しよ）・海外展開：越境型印刷で市場を拓ける（酒販免許も取得）
4. BtoC 商品：「キンシオタニ日めくりカレンダー」等を開発～販売

サスティナブル印刷で未来をつなぐ

当社はGP認定工場を核に環境配慮型印刷を推進。GP普及大賞の受賞、FSC®認証取得は単なる名誉ではなく、協業や連携の情報発信の担い手として「サスティナブル印刷セミナー」開催を通じ、紙メディアの社会的意義とビジネス価値を発信しております。

紙離れが叫ばれる今こそ、“地球に優しく、人の心に届く印刷”が光ると信じています。



共助で描く次の10年

東京大会でも大型スクリーンに映し出されたスローガン“価格競争から価値競創へ”今こそグラフィックサービス業に転換しよう

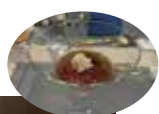
業界の未来は一社で切り拓けません。

共助と協創（協奏）—— その中心に「妄想力」と「巻き込み力」を置き、皆さまとワクワクする10年を創ってまいります。どうぞ貴社の妄想もお聞かせください。

一緒に次代のグラフィックサービス業を動かしましょう。

ジャグラー創立70周年記念 第67回ジャグラー文化典東京大会 —写真で振り返る文化典—

6月21日土曜日13時から、東京・浅草の浅草ビューホテルを会場に、第67回ジャグラー文化典東京大会が開催され、総勢440名が参加しました。詳細は次号にてご紹介しますが、まずは総会、式典、セミナー、大懇親会とイベント目白押しの東京大会の様子を写真にてご紹介します。



前夜祭



オペラで始まった前夜祭は地協対抗のゲーム対戦も……優勝は主催の東京だった



第60回ジャグラー定時総会



総会で挨拶する岡本会長（左）と稲満実行委員長



第67回ジャグラー文化典東京大会式典



左から：式典挨拶する原田運営委員長、祝辞を述べる経産省の佐伯課長、東京都産業労働局の福田商工部長



左) 周年記念で経産大臣賞を授与された菅野氏、尾形氏、谷川氏
上) 文化功労賞の沖相談役

特別功労賞の藤尾氏



功労者表彰受賞者



優良従業員表彰者



作品展受賞者



東京から大阪へ大会旗伝達

ジャグラーコンパクトDX事業報告・セミナー



大懇親会



ショーワの幅会長による乾杯



SPACE-21 が茨城大会を PR



JPA 卒業生が PR



次回大阪大会を PR



縁の下を支えた 4 人の副実行委員



東京首頭を指南



参加者で東京首頭を踊る



浅草サンバカーニバルを体験

オプショナルツアー



● 浅草めぐりと 屋形船ランチ



● 高速船で行く伊豆大島の旅



全てが終わって
涙腺が緩む
稲満実行委員長

ニッケイビルの大規模修繕を完了

1984 年に落成した軽印刷会館（現・ニッケイビル）の大規模修繕工事が終了しましたので、ご報告いたします。

ニッケイビルはこれまでも 12 ～ 15 年に 1 回の割合で大規模修繕を実施してきましたが、築 41 年目を迎え、ジャグラー創立 70 周年の節目の年に合わせ、今年 4 月から 6 月初旬まで、3 回目の大規模修繕工事を実施しました。

経年劣化により様々なところで不具合もあり、特に最近の極地豪雨による雨漏り等の対策も行いつつ、外壁補修に併せて外壁の色を変更しました。これからさらに 10 年、20 年と運営できるよう引き続き、修繕、保全に取り組んでまいります。



41 年前のニッケイビル

大規模修繕を終えた
ニッケイビル

SPACE-21 広報部 緑友会総会 in 広島・九州印刷情報産業展視察報告

SPACE-21 幹事 瀬尾 淳
(株)広瀬印刷



こんにちは。SPACE-21 幹事の瀬尾です。SPACE-21 定期報告の御題をいただきましたので、2点ほどG Sの貴重な場をお借りして報告させていただきます。

①緑友会総会 in 広島

去る5月24日、広島青年印刷研究会が主管となり、全国から緑友会のメンバーが広島の地に集い全国印刷緑友会総会と懇親会が開催されました。私も地元SPACE-21 幹事として、小澤代表、田治副代表と共に参加させていただきました。緑友会もSPACE-21に負けず劣らず、ざっくばらんに色々なことを話せる仲間が集まっており良い刺激をいただきました。また、緑友会とJaGraの双方に名を連ねているメンバーとも数人ほど遭遇し、久しぶりに夜遅くまで飲んでしまいました。小澤代表の話によると、緑友会も総会後の理事会の中で運営の在り方について喧々諤々としていたようで、他の会も同じように模索していることを改めて知ることができました。長く斜陽と言われるこの業界、業界に関わる青年のベクトルを集約して皆で楽しく未来を切り開いていきたいと心に刻んだ日になりました。澤田直前会長、清水新会長率いる緑友会の皆様、瀬尾寿之会長率いる広島青年印刷研究会の皆様、本当に良い機会をありがとうございました！

②九州印刷情報産業展（九印展）視察報告

え、コレ、SPACE-21の記事？ と一見思うかもしれませんが、私がこれまで見てきた中で一番若々しくエネルギー溢れる展示会だと常々感じておりましたので、この場を借りてご紹介させていただきます。私が4年前に山本地協会長に誘われて九印展に参加してまず驚いたことはデザイナーとのコラボフェアの併設でした。この魅力に嵌ってしまい、毎年通うようになりました。この度も中国地協の山本地協会長、広島県支部の松本支部長、そしてJaGra 広島大会のエクスカッションで三段峡ツアーのお手伝いをいただいたNPO法人三段峡-太田川流域研究会の本宮事務局長の4人で朝7時に車で出発、日帰り強行軍で九印展に向かいました。今回のコラボフェアは例年同様、個人のデザイナーさん、クリエイターさんが個展、PR活動、販売をするブースが約30m通路の両側に並んでおり、一人ひとりのクリエイターさんと話していると、全く進めない(笑) そのような企画エリアになっています。この度は三段峡に住まう動植物をキャラクター化してくださるクリエイターさんを求めるという目的があったため積極的に訪問しました。結果として早速週明けからZoomでプロポーザルに向けての協議を始めたり、三段峡まで自費で来て下さるクリエイターさんがいたりと目的以上の収穫を得ることができました。



下関壇ノ浦 PA



関門海峡大橋集合



九印展全体



タジマ工業様ブース



描画見本



鮎処はなこうでのランチ



光文堂様ブース



ホリゾン様ブース

午前中のコラボブースを堪能したあと、山本地協会長、本村広報委員長、松本支部長と合流し、一行は本村委員長お薦めの昼食に向かいました。なんとコチラのお店、岡本会長も来られたことがあるという「鮎処 はなこう」。街中にありながら、落ち着いた上品なたたずまいの中、ネタの大きなお寿司がたくさん詰まったランチをいただきました。勢いあまってワタシ、ほぼ2人前を平らげてしまいました！ 本村委員長、ご紹介ありがとうございました。皆さまも良ければ是非お立ち寄りください。

事とのことで、差別化を図ることができる可能性も大きく感じました。どなたか一台、いかがでしょうか。お値段は写真をループで見れば見えるかも……笑 是非、興味ある方は代理店様にお問合せしてみてください！

知っているベンダー様のほとんどがブース出展をされており、コンパクトにまとまっている九印展。色々な場所で知り合いに声を掛けられ、光文堂様のブースでは新しく四足歩行のロボットの販売を検討しているなど新たな発見もたくさんありました。気がつけば蛍の光が流れだし、今回も「まだおったん!？」と言われるくらい九印展を堪能しました。体力と気力があれば、このあと本村委員長が指導されている空手教室のレポートを……と考えていたのですが、福岡名物「牧のうどん」を食したら一気に眠気が来てしまい、気がついたら、松本支部長運転のもと、下関を通過しておりました。本村委員長、次回は「～困難に立ち向かう～ 押忍の精神」空手教室を是非、取材させてください(笑)

お世話になった皆様、ありがとうございました。

【限定菓子】
ひよ子は東京？
福岡？



食べても減らない
牧のうどん



緑友会
SPACE 茨城大会 PR



緑友集合写真



小澤代表に送られた御礼状

第 61 年度・第 1 回理事会 議事録抄録

ジャグラは 5 月 9 日、ニッケイビル 8 階会議室ならびに Zoom で第 61 年度・第 1 回理事会を開催しました。以下、理事会議事録抄録を報告します。

第一号議案 役員の派遣・スケジュールに関する件

〔提案内容〕
役員の派遣・スケジュールを別紙（巻末参照）のとおり決定したい。
《検討の経緯》
議場に質問・意見を諮ったところ、発言はなく満場一致で承認した。

第二号議案 第 60 年度事業報告に関する件

〔提案内容〕
第 60 年度事業報告について、別紙（総会資料参照）のとおり提案する。
《検討の経緯》
議場に質問・意見を諮ったところ、発言はなく満場一致で承認した。

第三号議案 第 60 年度収支決算書および監査報告書の決定に関する件

〔提案内容〕
第 60 年度収支決算書および監査報告書について、別紙（総会資料参照）のとおり提案する。
《検討の経緯》
谷川聡財政担当理事が別紙資料の決算書案に基づき、下記説明・報告を行った。
■ 60 年度の総収入は予算 1 億 3,150 万円に対し、実績は 1 億 3,923 万円で約 770 万円の増加。
■ 増収の要因は、保険代理店収入や雑収益が予想を上回ったこと。
■ 支出は予算（1 億 3,350 万円）に対して実績は 1 億 2,930 万円となり、420 万円の削減。
■ DX 関連事業のシステム導入費が未執行となり、次期に繰り越し予定。
■ 愛知県支部で著作権問題により 18 万円の特別支出が発生。
■ 収益事業の増加により法人税も増加したが、全体としては黒字（347 万 7 千円）を確保。
また、露木貴弘監事・善甫博史監事が、定期監査実施報告を行った。

■ 監査実施日時：理事会当日の午前 11 時
■ 実施場所：ジャグラ本部ビル 9 階会議室
■ 監査立会人：露木監事、善甫監事、前沢監事
■ 同席者：谷川理事、田中専務理事
■ 会員企業数は今期 14 社減少し、約 80 万円の収入減が確認された。一方、P マーク取得支援などの事業収益が約 800 万円増加し、収支全体を補填。
■ 総評：決算内容についてはしっかりした内容で健全である。以上、説明を行ったうえで、議場に質問・意見を諮ったところ、下記質問があった。その他発言はなく満場一致で承認した。
《主な意見・質問》
・ P マーク事業収入が増えているが、その分支出も増えてしまっている。受注制限をした方が良かったのでは？
→ 今期は内部審査員の体調不良等により審査の外部委託を増やしたため、収支のバランスが悪くなってしまった。内部審査員の体制が整えばそのようなことは起こらないため、61 年度以降は収支バランスが改善される見込みである。

第四号議案 第61年度収支予算(案)の決定に関する件

〔提案内容〕
第 61 年度収支予算（案）について、別紙（総会資料参照）のとおり提案する。
《検討の経緯》
谷川財政担当理事が別紙資料の予算案に基づき、下記説明を行った。
■ 収支予算書は、3 月に提出された案に理事会からの指摘を反映し、修正済みの最新版である。
■ 本部ビルの大規模修繕（約 3,000 万円）に関し、予算には 150 万円のみ計上し、残額は決算書で一括計上予定。
■ 形式上は黒字予算となるが、実際には修繕費差引後に約 2,450 万円の赤字となる見込み。
■ 法人税については約 70 万円の支払いを見込んで予算計上。
■ 会費請求は 7 月を予定しており、支部宛てに明細資料を配布済み。
以上、説明を行ったうえで、議場に質問・意見を諮ったところ、発言はなく満場一致で承認した。

第五号議案 ジャグラ文化典東京大会に関する件

（スローガン、タイムスケジュール、功労賞、優良従業員、組織拡大表彰）
〔提案内容〕
ジャグラ文化典東京大会のスローガン、表彰、組織拡大表彰について決定したい。
■ 総会スローガン
案「価格競争から価値競創へ今こそグラフィックサービス業へ転換しよう」
■ 表彰
功労者表彰、優良従業員表彰
■ 組織拡大表彰
秋田県支部、福島県支部、神奈川県支部、山梨県支部、東京・港支部、兵庫県支部、和歌山県支部、※広島県支部、徳島県支部
※ 5 月 19 日に広島県支部より 3 月 31 日付で 1 社退会の連絡があり、組織拡大表彰の対象から除外となった。

《検討の経緯》
議場に質問・意見を諮ったところ、候補者について質問があった。
質問・意見を諮った結果、追加した功労者表彰候補者リストをメールで送付し、後日承認を得ることとなった。

第六号議案 新入会員承認に関する件

〔提案内容〕
1. 3 月 1 日から 4 月 30 日までの下記新入会員について、承認いただきたい。

支部	会社名	業務内容
東京・港	(株)グレートインターナショナル	グラフィックデザイン、イラスト、映像作品、コンピュータグラフィックス制作、Webデザイン、アプリケーション・システム開発等
兵庫	アイデックスデザイン(株)	Webデザイン、アクセス解析、印刷物制作等
兵庫	Studio Hori	写真撮影
兵庫	感動会社 ^{もくつ} 楽通(株)	印刷物・Web・動画制作、採用支援、イベント企画、コンサル等
和歌山	(株)山添印刷店	オフセット印刷、ビジネスフォーム印刷、オンデマンド印刷、宛名印刷、封入封緘、大判印刷
愛知	(株)ECO ^{かねこ} 兼子	産業廃棄物処理業、リサイクル事業、古紙卸売業、製紙原料の収集、運搬
愛知	名東紙工(株)	広告関連の紙加工業、紙を中心とした加工業

2. 賛助会員の新規入会申し込みについて、承認いただきたい。
会 社 名：株式会社日本電子計算
入 会 日：2025 年 4 月 1 日
代 表 者：代表取締役社長 茅原 英徳
所 在 地：東京都千代田区九段南一丁目 3 番 1 号
設 立：1962 年 12 月
資 本 金：24 億 6 千万円
従業員数：1,488 名（2024 年 4 月 1 日現在）
事業内容：金融、証券、公共、産業（一般企業・文教事業）、BPO の 5 つの事業分野におけるシステム開発および情報処理サービス。印刷工場向け IoT 商材を取り扱っている。
Web サイト：https://www.jip.co.jp/
《検討の経緯》
議場に質問・意見を諮ったところ、発言はなく満場一致で承認した。

第七号議案 その他に関する件

1. 東京大会申込状況
6 月 21 日に開催されるジャグラ文化典東京大会について、原田大輔運営委員長および稲満信祐実行委員長より呼びかけがあった。
2. ジャグラ 70 周年記念表彰（経済産業大臣表彰）決定の件
2025 年 1 月 8 日に開催した第 60 年度第 6 回理事会において、ジャグラ 70 周年記念表彰（経済産業大臣賞）候補者が承認されたが、4 月 15 日付で経済産業省より賞の交付が承認され、受賞が確定したことが報告された。
3. 外国人材の受け入れに関する活動報告
2025 年 4 月 10 日～15 日に、原田副会長・岡副会長・田中専務理事の 3 名でインドネシア・ジャカルタを訪問した件について、田中専務理事より報告があった。（本誌レポート 23 頁参照）
4. 自費出版に関する報告
岡本泰会長より、自費出版について下記報告があった。
□ 昨年 11 月の全国協議会の翌日に、自費出版ネットワークの関係者と意見交換の場を設け、自費出版の価値と可能性について話し合いが行われた。
□ 自費出版は、商業印刷とは異なり、個人の思いや記録をまとめたものであり、「売ること」ではなく「記録し残すこと」が目的である。特に自分史のような形で、自分で資料を集め、自費で本をつくるという行為は、印刷物が芸術作品ともいえる価値を持つことを示している。印刷業界では通常、収益との兼ね合いから採算重視になりがちだが、自費出版ではお金を度外視して良いものを作るという姿勢が文化を育てる。
□ 自費出版を通じて「本をつくる喜び・満足・所有感」を多くの人に伝えることが、日本の印刷業界の未来につながる。ジャグラとしてはこれまでも、今後も自費出版を全力で応援する姿勢に変わりはなく、財政的支援も継続予定としたい。



雑学コラム^{③1} 野口聡の

47 都道府県のお話（その 29：徳島県）

ジャグラ会報をご覧の皆様、こん〇〇は。ジャグラ東京・東
グラ文京支部のアクティブ・野口です。

今月は徳島県を取り上げようと思います。関東在住の方から
すると中々足を運びづらい徳島県ではありますが、中々どうし
て面白い特徴がある県です。

今回もつつらと書いていこうと思いますのでお付き合い頂
ければ幸いです。

1：徳島県には日本で唯一〇〇が無い（その1）

これは鉄道好きならばよく知られてる話なのですが、徳島県
には「電車」が走ってません。

「いやいや、徳島駅あるじゃん、走ってるの見るよ」と思う
方もいらっしゃるかもしれませんが。上記の表現、きちんと書
くならば「電気で走る列車」が無い、ということです。列車は
走ってます、但し全て気動車（要はディーゼルカー）なのです。
理由は知りません（笑）。むしろ知りたい。

その2：徳島県には〇〇が無い（その2）

これも旅行や地理がお好きな方ならご存知かもしれませんが
が、徳島県には「国宝」がありません。これは日本では徳島県

と宮崎県だけが該当します。

これも不思議な話だと私個人は思ってます。お遍路さんの第
1 番札所（霊山寺）も県内にあり、歴史のある古刹も多いと思
うのであって良いと思うのですがね。

地理的に言うなら徳島県は日本で3つしかない「中核市」が
無い県（他の2つは三重と佐賀）でもあります。中核市とは何
ぞや、という方はインターネットで調べてみましょう。徳島市
とかは条件等は満たしてると思うのですがねえ。その辺は県
外の方は見守りましょうかね。

その3：徳島県の〇〇の代表は全てが……。

徳島県+高校野球と聞くとそこそこ野球に詳しい方なら、い
くらでも情報は出てくることでしょう。古くは板東英二、尾崎
将司、水野雄仁、潮崎哲也、里崎智也、等々。まあ多彩ですね。
そんな徳島県の高校野球、お詳しい方なら聞いたことがあると
思いますが、春の選抜、夏の全国の全大会を通じて徳島県の代
表は、実は全て公立の学校です。これは理由があって、徳島県
には野球部がある私立の学校が一つしかないんだそう。そ
りゃそうなりますね。因みに言うと高校サッカーの全国大会の
歴代代表もすべて公立（徳島商と徳島市立で8割以上）だそう
で。そりゃそうか。

つつら書いてきたコラムもこの辺りで。今月もお付き合い
頂きありがとうございました。では今月の問題です。

問題：ラッキョウの生産量国内1位、スイカときくらげの生産
量国内4位、という実績がありながら、イメージの結果
1位であろうと思われる梨の国内生産量は第6位で
ある日本の県はどこでしょう？

（正解は 29 ページ）

一般社団法人

日本グラフィックサービス工業会

JaGraグループ保険制度

災害保障特約付・災害割増特約付団体定期保険

◆ 割安な価格で充実の福利厚生

（例：30歳男性、1口327円/月）

◆ 70歳まで加入可能

◆ 死亡以外に事故による入院も保障

◆ 医師の診査不要、告知のみで申込



加入・お問い合わせはジャグラ事務局まで

☎ 03-3667-2271

2025 年 7 月

ジャグラBB
JaGra Broadband Contents Service

HOT NEWS

広報委員会
が選ぶ!

おすすめ番組情報

いますぐチェック!

ジャグラ BB | 🔍



出来るところから
自動化にや!

カテゴリー> BBネットワーク> 支部・地協発情報

ニシキプリント工場見学&
合同セミナーダイジェスト
【中国地協提供】



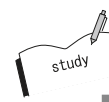
ニシキプリント合同セミナー
記録【中国地協提供】
生産性向上委員会がジャグラコンパ
クトDX導入について分かりやすく
説明



ジャグラコンパクトDX生産性
向上事例発表【中国地協提供】
ニシキプリントの事例を紹介
～「はたらく つながる ささえあう」
の実現をめざして～



※備ニシキプリントは、6月1日より備ニシキネットに社名を変更されました。



印刷用語を覚えよう!

カテゴリー> 教育と技術> DTP

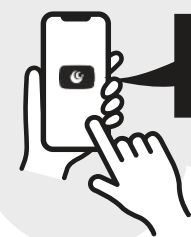
墨べタ

印刷用語マスターシリーズ #1

このシリーズでは、お客様や新入社員にとってわかりづ
らい印刷用語を手短かに説明します。第1回目は、同音
異義語「ベタ」です。



BTube への
映像データ募集中!



スマートフォンで
簡単投稿♪

投稿方法は
こちらから→



ジャグラ BB は、ジャグラが運営する、印刷業関連のセミナー、情報動画配信サイトです。
2006 年の開局以来、印刷業の情報収集、人材教育ツールとして多数の印刷会社に活用されています。

Horizon

Change the focus

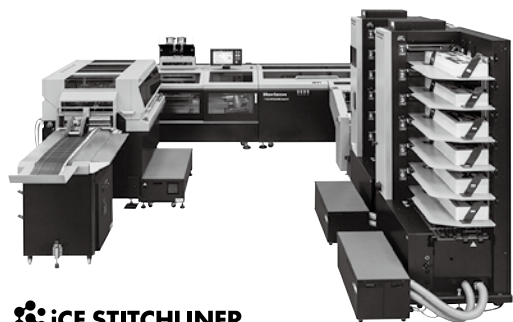
Connected をキーワードに製本工程の自動化を実現します。

iCE Series は、お客様へさらなる高付加価値を提供することを目指した次世代型商品群です。
ユーザーフレンドリーなインターフェースで作業性を向上させ、安定した生産性と自動化を高次元で追求しています。
さらに、ワークフローシステム「iCE LiNK」との連携により、先進的な作業環境を構築できます。

ペラ丁合鞍掛け中綴じ製本システム iCE STITCHLINER Mark IV

自動化と製本品質の向上を追求

多品種少量生産に対応するために、全自動化することでセット替えの時間を極限まで短縮しました。筋入れ機構や突き揃え機構、折り部、針金の長さ調整、断裁前の位置調整など、各工程における高精度な調整と加工技術で高品質な製本を実現します。



iCE STITCHLINER

無線綴じ機 iCE BINDER BQ-300

使いやすく進化した無線綴じ製本機

新世代 15 インチパネル HorizonXUI(ホリゾンクロスユーアイ) 初搭載。製本のノウハウと自動化技術を融合し、オペレーターの経験や能力に頼ることなく簡単に製本作業を行うことができます。



iCE BINDER

紙折機 iCE FOLDER AFV-566FKT / AFV-564FKT

生産性と折り品質が向上

ナイフ折り時の最適な給紙間隔をリアルタイムに計測演算し、最高の処理速度を引き出すなど、ナイフストッパーの脱着作業を含めた様々な設定を自動化し、幅広いアプリケーションに迅速に対応します。



iCE FOLDER

三方断裁機 iCE TRIMMER HT-300

高生産性と自動化を追求

一枚の断裁刃で天地、小口の三辺を断裁します。断裁前と断裁後の寸法をタッチパネルに入力することで設定が完了し、最高 300 サイクル / 時で高生産性を実現します。冊子厚さの自動測定や、断裁角度の微調整など、自動調整機能により、精度の高い仕上がりを実現します。



iCE TRIMMER

fb.me/Horizon.sns

ホリゾン・ジャパン株式会社 www.horizon.co.jp

本社	〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F	TEL.03-3863-5361(代)	FAX.03-3863-5360
東京支社	〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9	TEL.03-3652-7631(代)	FAX.03-3652-8083
京都支社	〒601-8206 京都府京都市南区久世大数町510	TEL.075-933-3060(代)	FAX.075-933-4025
福岡営業所	〒813-0034 福岡県福岡市東区多の津4-12-17	TEL.092-626-8111(代)	FAX.092-626-8112
仙台サービスセンター	〒984-0002 宮城県仙台市若林区卸町東1-7-31	TEL.022-782-2821(代)	FAX.022-782-3068

FUJIFILM

Value from Innovation

Revoria™

Revoria™ (レヴォリア) は

富士フイルムビジネスイノベーションによる

プロダクション・プリンティング・ソリューションの
ブランドです。

Revoria Press™ —— 乾式トナー方式プロダクション・プリンター

Revoria Flow™ —— プリントサーバー

Revoria One™ —— 印刷ワークフロー関連ソフトウェア

プリンティングビジネス全域にかかわる

この3領域の製品を連動させながら

グローバルにサービスを展開していきます。

わたしたち富士フイルムビジネスイノベーションは、

皆様と共にプリントビジネスの可能性を広げ、

富士フイルムグループの一員として

真に価値ある製品やサービスの創出に貢献します。



FUJIFILM

富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3

TEL:03-6271-5111 (代表)

<http://fujifilm.com/fb>

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布2-26-30 富士フイルム西麻布ビル

TEL:03-6419-0300 (代表)

<https://www.fujifilm.com/figs/ja>

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
Revoria、Revoria ロゴ、Revoria Press、Revoria Flow、および Revoria One は
富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

TOKYO QUALITY.

すべてのSPコミュニケーションに最良の品質を。

ユーザーサポートこそ商品

株式会社ショーワは、謄写版および付属品の販売と謄写印刷業の＜昭和謄写堂＞として、昭和3年に幅弓之助が創業しました。

創業者の幅弓之助は「良いものを売り、売ったものには責任を持つ事」に頑固なまでにこだわり続け、そのこだわりは創業から100年に向けて今なおショーワの社員一人一人にDNAとして脈々と受け継がれています。

長きに渡り、多くの取引先企業様より厚い信頼を寄せて頂けるのも、企業理念にもあります様にユーザーサポートという目に見えない、形のない「商品」だからこそ、付加価値を創造し続け、溢れる情報、市場状況を正確に分析・判断しうる知識とユーザーサイドで常に物事を考える「誠意」が評価して頂けているものと考えています。

今後も常に「ユーザーサポートこそ商品」の企業理念、創業者・幅弓之助の熱い志を胸に社員一同業務につとめていく所存です。

21世紀のグラフィックアーツを共に考えるショーワユーザー会

コラボレーション＆リサーチ

SHOWA会

ユーザー会で密に情報交換

年間活動

- 研修会 ○工場見学 ○総会・幹事会
- 会報・メールマガジンの発行 ○有志グループ活動

問い合わせ、入会お申込みは事務局まで

SHOWA会事務局 TEL.03-3263-6141 FAX.03-3263-6149



株式会社

ショーワ

プリントメディアの総合商社

<http://www.showa-corp.jp/>

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2 丁目 7 番 8 号 TEL 03-3263-6141 (代) FAX 03-3263-6149

東京リスマチック株式会社

なんでも相談窓口

プリントデスク ☎ 0120-269-132

平日(月～金) 9:00～17:00 E-mail: support@lithmatic.co.jp



Lithmatic
<http://www.lithmatic.net>

2025 年 誌上暑中名刺交換会

KWIX コミュニケーション・テクノロジー追求により、
顧客ビジネスの発展に貢献する

Info. + Design

「情報」と「デザイン」の融合により、最適なメディアの選定から
効果測定まで、お客様の真のビジネスパートナーを目指します。

販促支援サービス マニュアルサービス 教育機関支援サービス P&Dサービス

株式会社 **クイックス** <http://www.kwix.co.jp>

■本 社
〒448-0025 愛知県刈谷市幸町2-2 TEL 0566-24-5511 FAX 0566-26-0200
代表取締役社長 岡本 泰

株式会社グッドクロス

代表取締役
原田 大輔

〒141-0009
東京都品川区西五反田8-2の2
TEL 03 (6420) 2008
FAX 03 (6420) 2008
喜助西五反田ビル2F

ジャグラー大阪府支部
大阪府グラフィックサービス協同組合

支部長 **小幡 利之**
会員一同

〒541-0048
大阪府中央区瓦町1-6の10
JPビル4F
TEL 06 (6227) 8512
FAX 06 (6227) 8522

ジャグラー千葉県支部

支部長 **鎌田 俊郎**
ジャグラー
副会長 **尾形 文貴**

〒261-0002
千葉市美浜区新港2-13の5
TEL 043 (242) 4859
FAX 043 (245) 7233

株式会社カミヤマ

代表取締役
神山 明彦

〒451-0042
名古屋市中区西区那古野1-21の14
TEL 052 (665) 1118
FAX 052 (665) 1054

株式会社松栄印刷所

代表取締役社長
森 孝

〒790-0003
愛媛県松山市三番町七丁目9の2
TEL 089 (941) 3333
FAX 089 (933) 7911

ジャグラー山形県支部

山形県支部長
本部副会長 **後藤 卓也**

〒990-0051
山形市錦町1-15 中央印刷(株)内
TEL 023 (631) 5533
FAX 023 (631) 5535

株式会社大光社

代表取締役
谷川 聡

〒606-0864
京都市左京区下鴨高木町399の1
TEL 075 (707) 1133
FAX 075 (706) 9909

株式会社ウイング

代表取締役社長
松下 忠

〒640-8411
和歌山県和歌山市桃取1-7の2
TEL 073 (453) 5700
FAX 073 (453) 5520

企画・印刷・製本・グッズ制作
株式会社 **緑陽社**

代表取締役
武川 優

〒183-0033
東京都府中市分梅町3-58の1
TEL 042 (351) 1900
FAX 042 (351) 1900
Eメール info@yokuyou.co.jp

創るから造る
そして作る

株式会社 **イデアル**

代表取締役社長 **佐藤 元**

〒553-0002 大阪府福島区鶯洲5-5-5
tel.(06)6453-3334 fax.(06)6453-1231
URL: <https://www.ideal-fan.co.jp>

共立速記印刷株式会社

代表取締役会長 **吉岡 新**
代表取締役社長 **笹井 靖夫**

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-24
PHONE.03-3234-5511(代) FAX.03-3263-2740
<http://www.ksi21.com>

JaGra
岩手県支部

副支部長 (全国理事) **戸来 一裕**
Kazuhiro Herai

株式会社 **興版社**
〒020-0816 岩手県盛岡市中野1-4-14
TEL 019-624-3456 FAX 019-625-3456

i-Media
アイメディア株式会社

取締役 会長 **本村 一和**
代表取締役 **本村 豪経**

人とお、心と心・・・
新しいコミュニケーションを創造します。

〒815-0042 福岡市南区若久4丁目2-18
TEL(092)408-4351 : FAX(092)408-4352
Mail : info@i-media.co.jp

株式会社谷印刷

代表取締役会長 **黒澤 康憲**
代表取締役専務 **黒澤 武志**

〒921-8022
石川県金沢市中村町2番14号
TEL 076 (242) 7267
FAX 076 (247) 5181

Towa Print
紙以外の印刷にチャレンジ!

<http://www.towap.co.jp>

山梨の確信

有限会社 **東和プリント社**

事務所工場 山梨県甲府市住吉2-6-16
Tel.055-253-9293
本社ショップ 山梨県甲府市朝日2-7-10
Tel.055-234-5181
E-Mail info@towap.co.jp

株式会社松谷メールサービス

代表取締役
松谷 勝広

〒134-0082
東京都江戸川区宇喜田町1400の5
TEL 03 (6558) 5011
FAX 03 (6558) 5010

株式会社 中島プリント商会

代表取締役
中島 博

〒371-0024
前橋市表町二丁目6番5号
TEL 027 (231) 4348
FAX 027 (221) 4349

ワンストップ
NS PRINT & POSTPRESS
印刷からでも 製本からでも

ONESTOP SERVICE

東京 中継じ 検索

NS印刷製本株式会社 代表取締役会長 中村 耀
代表取締役社長 中村 盟

東京都新宿区早稲田鶴巻町568 Tel 03-3203-5421 Fax 03-5273-0527

ジャグラー中国地方協議会

会長 **山本 康彦**
会員一同

〒745-0043
山口県周南市都町3の1
TEL 083 (347) 6010
FAX 083 (347) 6345

東京クラフィックス 港支部

支部長 **稲満 信祐**

〒140-0002
東京都品川区東品川1-17の2
TEL 03 (347) 6010
FAX 03 (347) 6345

(株)ニシキコネクト

代表取締役
宮崎 真

〒730-0833
広島市西区南大蔵1-7-3
TEL 082 (277) 9933
FAX 082 (278) 9933

有限会社 小池印刷

代表取締役
伊藤 文雄

〒380-0936
長野市中御所3
TEL 026 (522) 6219
FAX 026 (522) 6284

株式会社 **リライツ**

代表取締役社長
森 宗明

〒874-0022 大分県別府市亀川東町4-20
TEL(0977)66-3676 FAX(0977)27-6088

FUJIFILM
Value from Innovation

富士フイルムクラフトソリューションズ株式会社

代表取締役社長
山田 周一郎

本社
〒106-0031
東京都港区西麻布一丁目26番地30号
富士フイルム西麻布ビル
03(6419)0300

ホームページ <https://www.fujifilm.com/jfs/ja>

「中小企業白書・小規模企業白書」から読み取る 中小企業の今とこれから

2025 年 4 月、経済産業省・中小企業庁より、「2025 年度版中小企業白書・小規模企業白書の概要」が公開されました。

現在、事業環境は大きく変化しており、グラフィックサービス業も例外ではなく、デジタル化の進展、原材料費・人件費の高騰、人手不足といった課題に直面しています。中小企業の傾向として、今回はいくつかのポイントを同白書からピックアップして紹介します。

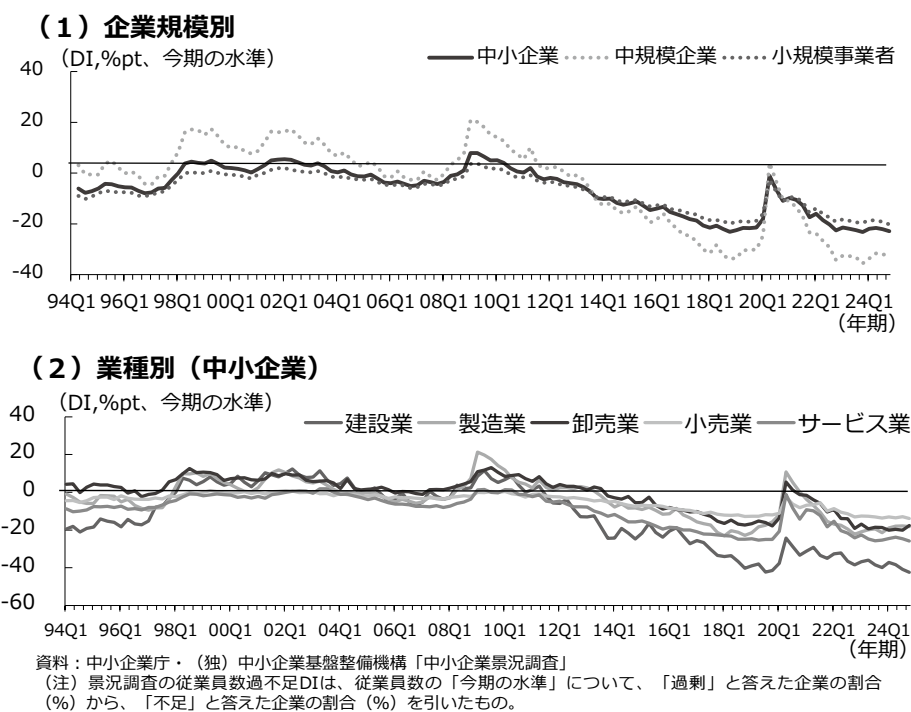
現業職を中心に、ほとんどの業種で人手不足が深刻化

- ①中小企業の人手不足感は依然として深刻化している。ほとんどの業種において、コロナ禍以降人手不足感が強まっている。
- ②不足している職種として、販売従業者・サービス職業従業者・建設作業者をはじめとした「現業職」を挙げる事業者が最も多い傾向にあり、「管理職」や「事務職」の不足感と大きな差がある。

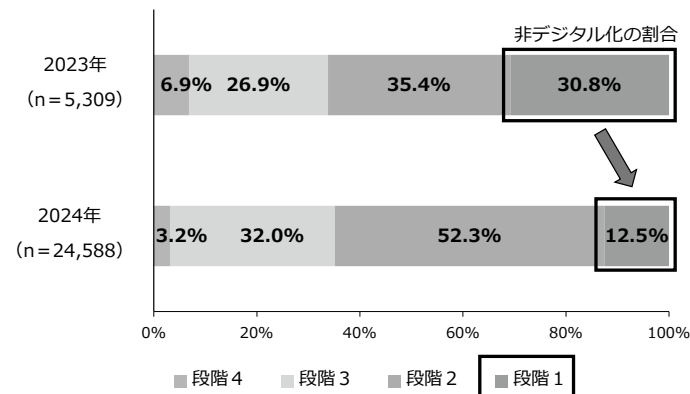
中小企業のデジタル化は一定の進捗 未着手の企業も依然存在

- ①労働生産性の向上が期待できるデジタル化は、多くの中小企業・小規模事業者が取り組んでおり、足下で大きく進展している。
- ②一方で、デジタル化に全く取り組んでいない中小企業も依然、一定数存在する。中小企業では、設備投資額総額に占めるソフトウェア投資額の比率も、大企業と比較すると低い水準で推移している状況であり、デジタル化に向けた取り組みを着実に進めていくことが必要になっている。

従業員数過不足 DI の推移（規模・業種別）



デジタル化の取組段階



資料：（株）帝国データバンク「令和 6 年度中小企業の経営課題と事業活動に関する調査」（2024 年 11 ～12 月）、「中小企業が直面する外部環境の変化に関する調査」（2023 年 11～12 月）
（注）1. デジタル化の取組段階については、以下のとおり。
段階 4：デジタル化によるビジネスモデルの変革や競争力強化に取り組んでいる状態
段階 3：デジタル化による業務効率化やデータ分析に取り組んでいる状態
段階 2：アナログな状況からデジタルツールを利用した業務環境に移行している状態
段階 1：紙や口頭による業務が中心で、デジタル化が図られていない状態
2. 2023 年、2024 年共にサンプル調査であり、調査間で母集団が異なるため、回答割合を一概には比較できないことに留意が必要。

価格転嫁率は改善傾向にあるが道半ば。 労働生産性の下押しにも影響

- ①仕入価格の上昇分を販売価格に十分転嫁できない状況が続き、価格転嫁率は 5 割近くまで上昇も、未だ道半ば。生産コストや品質に見合った価格転嫁が必要であり、原価計算等の適切な準備を行った上で、発注企業と積極的に交渉を行い、発注側も誠実に応じることが望まれる。
- ②一人当たり名目付加価値額上昇率とその変動要因を分析すると、製造業では中小企業は大企業より価格転嫁力が低く、一人当たり名目付加価値額上昇率の押し下げに寄与している。足下で、2022 年のロシアによるウクライナ侵攻に伴う輸入物価上昇の影響等により、中小製造業の価格転嫁力は落ち込んだものの、2023 年度に回復。非製造業では 2022 年度以降、価格転嫁が進行。この傾向は今後も続くことが期待される。

適切な価格設定は収益向上・設備投資 賃上げの好循環につながる

- ①自社の製品・商品・サービスの差別化や、市場環境を意識した経営を実施している事業者ほど価格転嫁が進んでおり、こうした経営が自社の競争力の強化につながり、価格転嫁の実現度合いに影響している可能性がある。
- ②差別化や市場環境を意識した価格設定や、生産プロセスの改善による費用低減に取り組む企業（マークアップ率

事業者に対応してほしい地域の社会課題

グループ	実際の回答例
①地域経済活性化、雇用の創出	地域のにぎわいの創出、産業の振興及び雇用の創出、地域住民への身近な購買機会の提供
②高齢化対策、事業承継	人口減少・少子高齢化対策、買物弱者対策、経営者の高齢化に伴う事業承継・後継者の育成
③人材確保、生産性向上	ものづくり産業の高付加価値化と生産性向上の推進、設備投資による生産性向上
④空き店舗・空き家の活用	空き家・空き店舗の活用・解消
⑤新規創業	第二創業等での新規事業展開、商店街を中心とした創業機運の醸成
⑥DXの推進	DXによる生産性向上への取組
⑦働きやすい環境の整備	多様な働き方の導入による潜在人材の活用

資料：（株）帝国データバンク「令和 6 年度中小企業支援機関の取組と課題に関する調査」（2024 年 11～12 月）
（注）1. 「地域の社会課題のうち、事業者に解決を期待している課題」について、回答内容を KH Coder を用いて共起分析したもの。実際の回答から、出現頻度の高い単語を含んでいる回答について一部を抜粋している。2. 「地方公共団体」のみを集計している（n=173）。

が高い企業）ほど、経常利益率・設備投資額・賃金水準が高い傾向にあり、適切な価格設定による好循環を実現できているといえる。

小規模事業者による地域の社会課題解決への期待が高まる

- ①地域の社会課題解決事業に取り組んでいない理由として「地域にどのような社会課題があるのか分からない」の割合が高い。一方で、取り組んでいる事業者では売上高の増加といった業績面の好影響が生じている傾向にある。中小企業も含め、ビジネスの手法で、地域の社会課題解決にポジティブに取り組むローカル・ゼブラ企業の更なる活躍が期待される。
- ②地方自治体からは「地域経済活性化、雇用創出」「高齢化対策」「生産性向上」などの地域の社会課題が挙げられている。こうした課題に地域の中で対応していくことも、小規模事業者が付加価値を見い出せる一つのビジネスチャンスといえる。

以上、公開された概要より抜粋しました。

ほかにも、様々な企業の実例も紹介されておりますので、是非一度ご覧ください。後半部分には、「経営力向上を支援する機関」の課題について言及されており、ジャグラにとっても参考になるものでした。

業 界 の 動 き

ジャグラ

総会に併せクイックス見学会を実施 懇親旅行で浜松へ 東京・中央支部

東京グラフィックサービス工業会中央支部は5月16日、17日の一泊二日で支部総会を開催しました。

初日は愛知県刈谷市のクイックスのPOD設備や物流拠点を見学し、浅井取締役に終始社内をご案内いただき、クイックスの技術力と運営体制の高さに会員一同深く感銘を受けました。

午後はそのまま会議室をお借りしてハイブリッドで総会を行い、滞りなく議案が承認されました。

クイックスをあとにし、宿泊は超豪華なグランドエクシブ浜名湖。中華ディナーを堪能した後は、100平米超のスイートルームにて深夜まで痛飲。なんとワゴンいっぱいに運び込んだお酒をすべて飲み干しました（笑）。

翌日はうなぎパイファクトリーや航空自衛隊エアパークを訪れ、最後は浜松名物のうなぎ料理に舌鼓を打ち、学びと交流に満ちた有意義な視察旅行となりました。

中央支部支部長／研美社代表取締役 中田 逸郎



ジャグラ

鬼怒川温泉で総会開く 「みんながいるから、がんばれる！これからも。」 スローガンに 東京・文京支部

東京グラフィックサービス工業会 文京支部は、5月17日、令和6年度（第63期）総会を開催しました。今期は非改選期ということで、鬼怒川温泉で開催となりました。お泊り総会として、2年に一度の恒例となっておりますが、20社を超える会員が集いました。



総会冒頭に笹井支部長

が「昨年支部長就任時に、花を咲かせたいと申し上げましたが、現状はまだ蕾の状態。2年1期で1ターンと考えている。定例会ではテーマに沿った自社プレゼン等を行い、新加入会員と一緒に、会員中心の新たな活動をしていきたい」と意気込みの言葉とともに挨拶を述べられました。また、中村盟東京グラフィックス副会長も参加いただき、「6月に開催されるジャグラ70周年記念東京大会では、文京支部のメンバーが実行委員会の中心となり準備を進めて頂いている。全国のメンバーにもこの勢いを東京の代表として伝えて欲しい」とのご挨拶を頂戴しました。その後、野口議長のもと、総会議事は原案通り賛成多数で承認され、無事総会は終了となりました。

その後休憩をはさみ、懇親会を開催。懇親会から武川優東京グラフィックス副会長も参加、乾杯のご挨拶とともに、懇親会がスタート。着席スタイルでしたが、多くが立ち上がりメンバーと語り合いました。途中、笹井支部長発案のゲームで盛んに盛り上がり、中締めには、谷口美保東京グラフィックス副会長の掛け声で締めいただきました。

文京支部のスローガンは、「みんながいるから、がんばれる！これからも。楽しく役に立つ、本音で語り合える場所！だから文京支部！」。今後も文京支部から東グラ、ジャグラを盛り上げていくことが期待される総会、懇親会となりました。



ジャグラ

釧路で地協総会 正文舎の取り組みセミナーも 北海道地協

ジャグラ北海道地方協議会は5月30日、北海道釧路市の釧路市民センターわっとで、渡辺地協会長が議長をつとめ地協総会を開催し、原案通り議案を承認しました。総会後には札幌の正文舎の岸社長を講師に、同社が手掛けるDXの取り組みを学びました。

総会、セミナー後は場所を炭焼炉端ちくぜんに移し、懇親会を開き会員同士の交流を深めました。



マスターズ クラブ ジャグリストを訪ねて

熊谷正司相談役（秋田・くまがい印刷社長）

マスターズクラブ 会長 吉 岡 新

秋田県 第65回東北地方協議会総会・懇親会、乳頭温泉

去る5月17日（土）、秋田県の熊谷元副会長（相談役）よりマスターズクラブにお誘いがあり、秋田市の「ホテルメトロポリタン秋田」にて開催された、東北地方協議会総会に沖元専務理事（相談役）と参加してきました。

総会は全ての議事が承認され終了しました。懇親会は山形県の後藤地協会長のご挨拶、田中専務理事のご挨拶で始まり、熊谷氏の乾杯の発声で始まりました。懇親会も大変和やかな雰囲気の中開催され美味しい地元の料理と地元のお酒を頂きながら会話も弾みました。

懇親会終了後、筋金入りのジャグリスト、東海林・熊谷先輩、伊藤福島県支部長夫妻、後藤副会長親子に二次会に誘われて、それはそれは楽しい時間を過ごすことができました。

5月18日（日）は二日前まで雨マークでしたが、前日から曇りマークに変わりました。秋田椿台カントリークラブは、秋田空港から車で7分の場所にあり、数々のプロトーナメントが開催された開場50年を超える名門コースです。広大な大地と雄大な自然に抱かれた27ホールのチャンピオンコースです。今回は13名の参加者があり、私たちも楽しくゴルフ大会に参加することができました。本来であればゴルフ大会終了後に秋田空港から羽田空港に帰るのですが、以前から熊谷氏より乳頭温泉の話が聞かされていたので、今回は後期高齢者3人で田沢湖、乳頭温泉郷の旅をすることになりました。ゴルフ場から80Km、車で田沢湖経由で乳頭温泉郷まで2時間です。途中田園風景を見ながら新緑の中を通り過ぎ進んでいきます。田沢湖は周囲20Km、水深423m（日本一）です。田沢湖を語る上で欠かせないのが、この地に古くから伝わる「たつこ姫伝説」です。昔たつこという名前のとても美しい女性が、「自



らの永遠の美貌と若さを保てるように」と大蔵観音にお願いしました。その結果、龍となって田沢湖の底に沈み、湖の主となったそう。その伝説をもとに湖畔につくられたのが、たつこのブロンズ像だそうです。黄金色の像が湖畔に佇む姿は神秘的です。

ここから乳頭温泉郷の鶴の湯温泉まで30分。道は上り坂でだんだん陰しく細くなり残雪があちこちに残っています。気温も低くなりました。今回は鶴の湯温泉の別館に泊まります。「日本秘湯を守る会」会員、開湯350年のポスターも賞状があります。夕方6時前に着いたので夕食は7時においしい、直ぐに本館（車で5分）に行きました。何度も写真で見ていた大露天風呂に入りました。夕食の時間らしく私たち3人しかいません。泉質は含硫黄、ナトリウム、カルシウム塩化物、炭酸水素泉で効能は高血圧症、動脈硬化症、リウマチ、皮膚病、糖尿病に効くそうです。乳白色で40度弱の温泉で足元からブクブクと湧いています。15分程温泉に浸かり気分もすっかりリフレッシュ、肌もスベスベです。辺りも暗くなってきました。

夕食は囲炉裏を囲んでの昔ながらのスタイルです。どこか懐かしさがあります。イワナの塩焼き、山菜の数々、いぶりがっこ、名物山の芋鍋、日本酒が進みます。しかし、ゴルフ後の身体には皆さん少々キツく早めに眠りにつきました。

昨夜は秋田市内に熊が出没するという話で驚いていましたが、早朝に一人で露天風呂に入って良い気分で見渡すと如何にも熊が出てきそうな雰囲気、早々に引き上げました（笑）。朝食後、観光をしながらJR田沢湖駅まで送っていただき、秋田新幹線で東京に帰りました。熊谷さん色々ありがとうございました。



BCPは、人の安全から始まる。
印刷が実現する災害に強い社会。

防災から仕事をつなぐ

JaGra Compass ジャグラコンパス

ー避難場所マップー

地域活性化委員会では、会員の仕事づくり「創注」をキーワードに、活動してきました。その成果として、会員企業が地域に特化した自社コンテンツとして活用できる、避難場所マップ生成システム「ジャグラコンパス」を開発しました。

本システムを防災を切り口に、ドアノックツールとして新たな仕事づくりにお役立てください。

<特典①> 営業ツールキット

- ・操作マニュアル
- ・操作マニュアル（動画）
- ・営業方法虎の巻（制作中）
- ・汎用提案書（顧客向け）
- ・デザインテンプレート
- ・Web用商品紹介ページ

<特典②> 運用説明会

7月18日 オンライン（Zoom）

7月26日 九州地協セミナー

運用説明会

7月18日10時~12時 オンライン（Zoom）

お申し込みは→QRからお願いします




洪水/内水氾濫



土石流



津波/高潮



崖崩れ/地滑り



大規模な火事



地震

【特別企画】

RMGT・キャレオス・ジャグラ合同 雇用環境整備事業

4/9-4/16 インドネシア・ジャカルタ視察レポート

海外人材の雇用と 印尼印刷業界の現状

報告者 田中良平

ミトラ・インダストリ MM2100

視察参加者	原田 大輔	日本グラフィックサービス工業会 副会長
	岡 達也	日本グラフィックサービス工業会 副会長
	山野 健作	リョービMHIグラフィックテクノロジー 経営企画本部本部長兼経営企画部部長
	森 郷	キャレオスパートナーズ 国際事業部営業マネージャー
	荒木 大地	ジャパンケアサポートインドネシア 副支社長
	田中 良平	日本グラフィックサービス工業会 専務理事

インドネシア・バリ島視察（23年12月号参照）から1年半が経過した。日本国内では新たな特定技能制度の受け入れ可能業種が発表され、製造業で印刷・製本関連も工業製品製造分野で追加されたが、全日本印刷工業組合連合会、全日本製本工業組合連合会、全国グラビア協同組合連合会のいずれかに所属していることが条件として足された。現状、ジャグラ会員が特定技能制度を活用するには上記3団体のいずれかへの加入が必要となる。引き続きジャグラとしても特定技能制度とその先にある育成就労制度（旧技能実習制度）を会員企業が今後利用できるよう、関係各所へ働きかけていく。

政府主導で制度設計が進む一方で、制度を利用して印刷会社へと入ってくる海外人材の確保と育成が必須となる。この間、リョービMHIグラフィックテクノロジーのRMGT-CSPI（Consortium for a Sustainable Printing Industry）を通じて、外国人雇用支援事業を手掛けるキャ



スカルノ・ハッタ国際空港

レオスパートナーズ株式会社と共に、インドネシアの若者を日本へと送り出すスキームを模索してきた。

今回、具体的な動きとして、RMGTからの要請を受け、技能実習生が日本から本国に戻った際に働くインドネシアの印刷業界、印刷の基礎を学ぶための教育環境について現地ヒアリングを通じて検討すべく、インドネシアの首都ジャカルタへと赴くこととなった。

ジャカルタ視察は4月10日から15日までの5泊7日の行程で実施された。4月10日にキャレオスグループの株式会社ジャパンケアサポートインドネシアが運営する日本語職業訓練校フジアカデミー・デルタマス校を訪問したのをかわきりに、プカシの工業団地MM2100内にある職業高校ミトラ・インダストリMM2100、印刷専門学校SMK Grafika Desa Puteraを訪問。11日は大手食品関連パッケージ印刷会社のGlopac Indonesia、インドネシア印刷メディア協会（PPGI）を訪問。12日は午前中フリータイムを経て、午後は新都市プロジェクトが進む「パンタイ・インダ・カブック2（PIK2）」を視察。13日の日曜日は半日かけてジャカルタから車で西ジャワの州都バンドンへと移動。14日はインドネシアで愛知県瀬戸市に本社を構える笹原金型株式会社の海外拠点PT. SASAHARA INDONESIAを訪問。15日は再びバンドンからジャカルタに移動し、印刷会社のPrintindo Utamaを訪問し、帰国の途に就いた。

以下、各訪問先の情報と所感を報告する。



新幹線でバンドンからジャカルタへ移動

フジアカデミー・デルタマス校

デルタマス校はキャレオスグループのジャパンケアサポートインドネシアが今年開設した新たな特定技能、技能実習生人材を育成する場で、半年間の育成プログラムを経て、日本語能力試験のN4レベル（身近な話題の文章を読んで理解し、ゆっくり話される会話の内容を理解できる）を習得できる。

同社は介護系人材の育成を得意としてきたが、同校では製造職種の人材を養成していく。訪問当日はデルタマス校のソフトオープニングが行われ、新入生と交流を図った。



ミトラ・インダストリ MM2100

ミトラ・インダストリ MM2100（以下、MM2100）は、工業団地内に位置する専門学校。ホンダなど日系企業を中心に工業団地入居企業の総務・人事部長 10 名が設立した。当初、工業団地で勤務する人材を外から雇用していたが、



ホテル先の実習

地域住民から地元住民も雇用するよう要請があった。そこで各社の風土に合う人材を育成していくため、地域住民の教育を

行ったのがはじまり。10 年間かけて、日系企業等の商習慣を理解できるよう教育体制を整えてきた。最初は個別対応で地域住民の教育を行っていたが、各社の負担が大きかったため、工業団地内に専門学校を設立し、工業団地の企業に勤務できる即戦力人材を育成できるカリキュラムを構築。必要な資材等は入居企業が CSR の一環で無償提供させることで教育レベルを充実させている。



現在は産業界と教育界のギャップを埋める学校として、インドネシア全土に 7 校を開設、支援している。「知識、技能は後から身につくが態度は一生」という考えから、知識、技能、態度の 3 つのキーワードを掲げ、徹底して態度を教育している。現在、3,767 名が卒業し、うち 2,636 名がインドネシア国内の日系企業に就職。特定技能、技能実習生の送り出し機関も立ち上げ、全体の 11 % となる 582 名を日本へ送り出している。

SMK Grafika Desa Putera

SMK Grafika Desa Putera は、印刷を中心としたグラフィック系の専門学校で、3 年間の教育課程で印刷、グラフィック系人材を育成している。DTP から印刷、製本・加工と一連の工程を学ぶことができる。

関連会社が運営する印刷会社が隣接されており、学生は実際の現場で機械の操作などを働きながら



生徒がカフェを運営



学んでいる。

一学年 20 名で現在 60 名近くの学生が通っている。就職率は 100 % だがというが、同校に通う子どもの中には、学費が払えず、卒業証書を担保に卒業後、借金を返済するケースもある。しかし、印刷現場の給与はインドネシアでも最低賃金が多く（それ以下という話も……）、印刷業界を志望する子どもが減っているという。

最初に見学した MM2100 とは異なり、企業の大きな支援が無く、入学者減もあって厳しい運営状況が垣間見えた。



SMK Grafika Desa Putera の Hotmaida Nainggolan 副校長（中央女性）



オレンジの服は学生

Glopac Indonesia

ジャカルタから車で 1 時間半ほど行った西ジャワのブカシにある 2005 年創立の印刷会社。当初は出版印刷を主体としていたが、2010 年以降、出版市場の縮小に合わせて食品用包装パッケージ印刷へと業態変革を進め、パンデミック（コロナ禍）前に完全なパッケージ印刷会社へと転換した。

現在、製造品の 80 % がグローバルブランドを中心とし



た飲食用の紙コップが占める。そのうち 70 % は海外向けで 30 % が国内向けに出荷している。今年度はイスラエルの情勢悪化で厳しい状況にあるという。

ドミノピザやケンタッキー・フライド・チキン、ネスレといった日本でもお馴染みのパッケージも手掛けている。

インドネシア印刷メディア協会

インドネシアの印刷業界はパッケージ、出版（商業印刷）、コンバージ（紙器段ボール）、セキュリティ印刷の 4 つの団体に分かれている。中でも訪問したインドネシア印刷メディア協会（PPGI）は規模として一番大きい出版（商業印刷）関係の印刷会社で構成される。現在 150 社が所属している。

活動の中心はロビー活動としており、最近では小中学生向け教科書の印刷を会員に発注するよう政府に働きかけている。また、出版物のデジタル化の流れを受け、所管大臣に要請し、教科書は印刷物で提供していくという方針を打ち出させている。

インドネシアでも先進国の動きを受け、20 年前からデジタルシフトの傾向が強まっており、行政の申請書や結婚式の案内などの端物までアプリ化している。紙からデジタルに行政の印刷物に移行し、そのデータ制作分野も別の業界に奪われていることから、比較的堅調なパッケージ印刷へと転換する会社が多い。

理事の一人は、大手製紙会社を親会社とする印刷会社で良質なインドネシア産の紙を使ったパッケージ印刷で中国とのグローバルな市場競争でアドバンテージを持ち、海外輸出で収益を高めているという。

現状の課題としては、中国市場が最大の輸出先となっているが、32 % の関税が障壁となっており、ランプ関税と併せて今後の動きに注視している。



パンタイ・インダ・カプック2

ジャカルタ北岸からバンテン州までの沿岸地域を開発する新都市プロジェクト「パンタイ・インダ・カプック2 (PIK2)」。スカルノ・ハッタ国際空港近くに不動産開発アグン・セダユ・グループが手掛けるザ・ニュー・ジャカルタ・シティは、人工島のゴルフ・アイランド、中華街のパンチョラン PIK、リバーウォーク・アイランドなど、総開発面積 6,000 ヘクタールと広大な範囲に及ぶ。

ジャカルタ市内中心部とは異なり、日本の晴海や汐留を彷彿とさせる洗練された街並みが展開されていた。



PT. SASAHARA INDONESIA

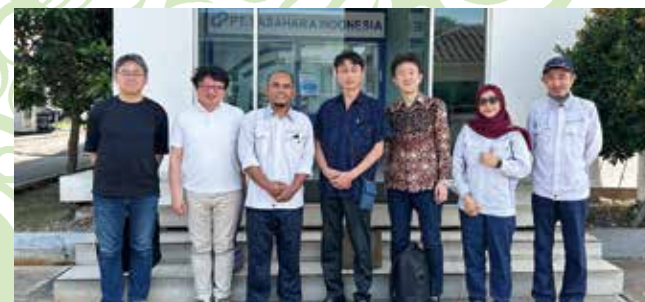
愛知県瀬戸市に本社を構える金型業の笹原金型株式会社が設立した現地法人の PT. SASAHARA INDONESIA で



は、日本人 1 名を除き、全て現地採用で業務を行っていた。企業内転勤が常態化しており、家族も含めて日本に常時 8 名ほど勤務し、日本の技術レベルをイン

ドネシア国内でも浸透させている。

同社はジャカルタから車で約 2 時間のバンドンに工場を



構えている。金型の設計、製造、輸出入、販売をメインとしているため、生産の金型工場のようにラインが常に動いていない。多くの社員はオフィス内の PC で 3D モデリングの金型を設計している。

日本国内よりも 3 割ほど人件費を抑えることができ、3 年で 20 名現地スタッフを増強した。



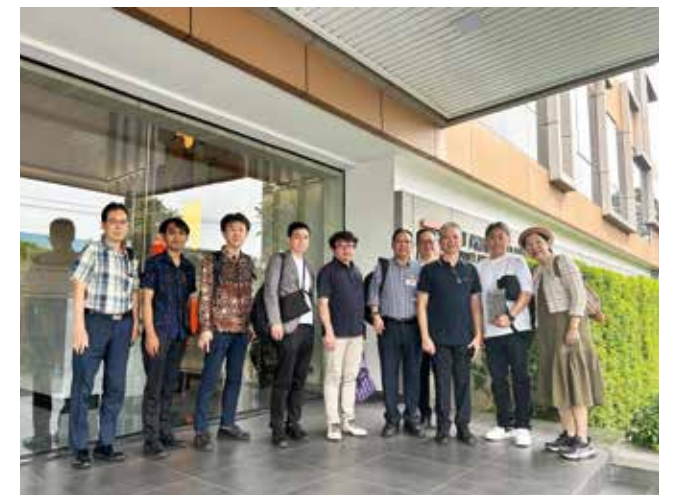
Printindo Utama

スカルノ・ハッタ国際空港近くに本社を構える Printindo Utama は、従業員 350 名でハイデルベルグ社の最新オフセット印刷機など 4 台を備え、コールドホイルやダイカットなどの後加工による高付加価値パッケージ印刷を手掛けている。

前段の Glopac Indonesia 同様、出版印刷から転身し、パッケージ印刷専門会社となっている。Glopac がクリーンなパッケージ印刷を主軸とするなら、こちらは高付加価値重視。以前はカタログなどの冊子物をメインとしていた



がコロナ禍以降、デジタル化が進んで需要がなくなり、今では全体の 1 % くらいしか手掛けていない。国内がメイン市場で 1 日に 50~60 万枚のパッケージ印刷を行っている。



Utama とアテンドして頂いた現地商社 CYBER の方々と



ホテル近くの広場で早朝開かれる市場



東インド会社の元建物



街の路地
(一歩入るとがらりと雰囲気が変わった)

視察を終えて

4月9日夕刻。ジャグラ作品展の二次審査2日目を無事終え、その足で成田空港へと向かい、原田副会長と合流して夕方まで一路、ジャカルタへと飛び立った。日付変更して夜中の1時にスカルノ・ハッタ国際空港へと到着し、現地にてキャレオスの森さんの出迎えを受け、そのままジャカルタ市内のホテルへと移動。チェックインを済ませると、朝8時にはロビーに集合して視察がスタートすることが告げられ、前回同様、タイトな視察スケジュールに一抹の不安がよぎった。

とは言え、2時間ほどの時差と窓一つない閉塞したホテルの部屋にインドネシアにきた実感を得ないまま小休止を取り、朝7時には朝食を取って旅のスタートを切った。

ジャカルタはバリとは異なり、首都ということもあり観光よりもビジネス色が強かった。街並みも宿泊した地区を別として、地元の生活に密着した作りだった。

一番強く感じたのは貧富の差であった。きれいな街並みがあったかと思うと、いつ崩れてもおかしくないような作りの長屋が続く場所もあり、道路には自主的な交通整理でチップを稼ぐ人、踏切で止まっている車の窓ガラスを吹いて小銭を稼ぐ人、小さい子どもを連れて水を売り歩く人、仮装して道行く人におびねりを求める人がそこかしこにいる。反対に高層ビルや巨大なショッピングモールでは悠々と買い物や食事を楽しむ人がいる。

インドネシアの人口は2024年時点で2億8,160万人と世界で4番目に多く、ある程度の貧富の差は否めないのかもしれないが、24年8月時点の失業率4.91%でこのうち15～24歳の若年層が占める割合が52.64%に達しており、若者の失業が社会課題となっているという話を聞いた。

最初に訪問したフジアカデミーは別として、次に訪れたMM2100は、巨大専門学校として校内に様々な施設があり、カフェは経理系の学生やサービス系の学生が自主運営し、工業系ではホンダなど工業団地の企業が寄付したバイクなどを実際に使ったの実習が行われ、高度な教育カリキュラムが整備されていた。

専門分野の若者を育成する手段として、複数社で投資(寄付)することで優秀人材が確保できる仕組みが出来上がっていた。技術力だけでなく、日本の商慣習やバリでもあったが、日本でも見ることが無くなったしつけ教育が浸透しており、私達視察団よりも礼儀の行き届いた学生たちに改

めて現地の若者の優秀さを感じた。

インドネシアの印刷業界に関しては、ほぼ出版印刷がデジタル化で無くなっており、パッケージ印刷以外生き残る道はないのかと思うほど、訪問する印刷会社が事業転換していた。人口の多さもあって多品種少量やデジタル印刷による高付加価値は関心が薄く、グローバルでいかにナショナルブランドの案件を受注するか、行政と密着した印刷需要の取り込みに注視する傾向が強く、業界としての参考には個人的にならなかった。また、最低賃金(またはそれ以下)で働かされることもあり、現地の若者には、印刷業界としての魅力はない。ただ、特定技能人材を育成するための土壌に関しては確認することができた。

想定以上に外国人雇用で参考になったのはPT. SASAHARA INDONESIAだ。非常に率直な話を聞くことができたこともあり、海外に拠点を持つこと、そしてそこで現地の人を雇用することについて、一つの成功事例を見ることができた。

余談

インドネシアはイスラム教徒の割合が総人口の約87%を占めます。とくに観光地バリ島とは異なり、ジャカルタは宗教的な配慮が行き届いており、つまるところ“飲酒”できるところが非常に少ない……。喫煙に関してはこれでもかというほど寛容(スタバやマクドナルドにも喫煙場所があった!)にも関わらず、飲食店にお酒がないことが多く、夕食を取る際、ハードスケジュールをこなすためにも何とかビールだけでも飲めるところを!とスマホで飲食店検索の嵐。時にはビールはあるが冷えていない(飲んだことが無いから分からないのでは)ということで、語学堪能な岡副会長がボールと氷を用意してもらい即席アイスバケットで冷やしたり、日本人向けスーパーで買い込んでお店に持ち込み交渉するなど、人には決して譲れないことがあるのだということを改めて感じた旅路であった。



事務局日誌と今後の予定

最新情報はHPでご確認ください

6月の事務局日誌

- 2日 広報委員会 (Web 会議)
- 4日 MIS 研究委員会 (Web 会議)
- 7日 九州地協総会 (福岡) →田中専務
- 9日 ジャグラコンテスト専門委員会 (Web 会議)
- 10日 正副会長会議 (Web 会議)
Pマーク審査員フォローアップ研修 (印刷会館) →田中専務、阿部、今田、長野、古田
- 11日 日印産連総会 (東京) →岡本会長、原田副会長、田中専務
千葉県支部例会→岡本会長、田中専務 JIPDEC 指定機関連絡会議→今田
地域活性化委員会 (Web 会議)
- 12日 サステナブル委員会 (Web 会議)
- 13日 Pマーク現地審査 (福島) →今田 ジャグラショートカット運営委員会 (Web 会議)
- 18日 業態進化委員会 (Web 会議)
- 20日 ジャグラ文化典東京大会前夜祭
- 21日 第67回ジャグラ文化典東京大会
- 24日 ジャグラコンテスト委員会 (Web 会議)
- 25日 Pマーク現地審査 (長野) →今田

7月のスケジュール

- 1日 広報委員会 (Web 会議)
- 2日 MIS 研究委員会 (Web 会議)
環境マネジメント部会 (Web 会議)
- 3日 正副長会議 (Web 会議)
宮城県支部総会→田中専務
- 4日 年賀状デザインコンテスト審査会 (本部)
- 7日 生産性向上委員会 (Web 会議)
- 9日 Pマーク審査会→田中専務、今田
- 11日 理事会 (本部) 地域活性化委員会 (Web 会議)
- 16日 ジャグラテスト InDesign セミナー
会員拡大委員会 (Web 会議)
- 17日 Pマーク現地審査 (秋田) →今田
- 18日 Pマーク現地審査 (秋田) →今田
- 22日 日印産連ステコミ→岡本会長、田中専務
- 23日 ジャグラテスト Illustrator セミナー
サステナ酒場 (Web 会議)
- 24日 業態進化委員会 (Web 会議)
- 25日 神奈川県支部60周年総会・祝賀会 (横浜) →岡本会長、田中専務
- 27日 印刷屋さんのお仕事展 (はるみらい)
- 28日 印刷屋さんのお仕事展 (はるみらい)
- 31日 栃木県支部総会→岡本会長、田中専務
Pマーク現地審査 (大阪) →今田

8月のスケジュール

- 1日 Pマーク現地審査 (大阪) →今田
- 4日 広報委員会 (Web 会議)
- 5日 Pマーク審査会→今田
- 21日 70周年記念誌編集委員会
- 25日 委員長会議 (Web 会議)
- 27日 モリサワセミナー
- 28日 正副会長会議 (Web 会議)

事・務・局・便・り

6月21日に浅草ビューホテルで開催されたジャグラ文化典東京大会が無事終了しました。今回はジャグラ創立70周年記念大会でもありましたが、当日はお祝いの日に相応しい晴天で、大勢の方にご参加いただけたことを大変うれしく思っております。実行委員会の皆様、おつかれさまでした!お土産の袋に入っていた和綴じのレトロな参加者名簿は、私も少しではありますが製本作業に参加させていただきました。稲満実行委員長に綴じ方の手ほどきを受けたおかげで、我ながらなかなか手際よく製本できたと思います。来年は大阪大会でお会いしましょう! (阿部)

※「事務局便り」は本部事務局員が交替で執筆しています

月刊『グラフィックサービス』884号

■発行日 令和7年7月10日 (毎月1回)
■発行人 岡本 泰
■編集人 本村 豪経
■発行所 一般社団法人 日本グラフィックサービス工業会 略称ジャグラ
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町7-16
電話 03-3667-2271 ファクス 03-3661-9006
ウェブ <https://www.jagra.or.jp/>



ジャグラは一般財団法人日本情報経済社会推進協会指定のプライバシーマーク指定審査機関です

■編集部宛メール edit@jagra.or.jp

◎企画: ジャグラ広報委員会

担当理事

神山 明彦 愛知・(株)カミヤマ / 副会長

委員長

本村 豪経 福岡・アイメディア(株) / 理事

委員

東海林正豊	秋田 / (株)東海林印刷
谷山 和也	東京 / 菁文堂(株)
野口 聡	東京 / (株)アクティブ
小澤孝一郎	山梨 / (株)オズプリンティング
安達 睦男	大分 / (有)舞鶴孔版
蛇喰 悠太	広島 / (株)ideal
三宮 健司	高知 / (有)三宮印刷
佐藤 愛子	大分 / (株)クリエイツ.
西谷 毅	東京・文京 / 西谷印刷(株)
松谷 勝広	東京・文京 / (株)松谷メールサービス
笹井 靖夫	東京・文京 / 共立速記印刷(株)
田中 良平	専務理事

◎原稿・編集・校正

田中 良平	阿部奈津子	今田 豪
長野未奈美	古田 理子	笠原賢一郎

以上、ジャグラ事務局

◎渉外 田中 良平

◎広告 田中 良平

◎Web 阿部奈津子 古田 理子

◎動画 今田 豪

◎組版 (株)クリエイツ. (大分県支部)

DTP = Adobe CC ほか

フォント = モリサワ OTF / モリサワ BIZ+ ほか

UD FONT by MORISAWA ※本誌の一部にユニバーサルデザインフォントを使用しています

◎製版 / 印刷 (有)西村謄写堂 (高知県支部)

RIP = FUJIFILM WORKFLOW xmf

CTP = Luxel T-6300 (自現:富士フィルム XP-1310R)

刷版 = FUJIFILM SURERIA XP-F

印刷機 = RYOBI 924D

インキ = 東洋インキ

用紙 = 三菱ニューVマットA判 57.5kg

Copyright 2025 JaGra

禁無断引用

※本誌記載の製品名は一般に各メーカーの登録商標です
原則、TMや®マークは省略しています

※乱丁 / 落丁本はお取り替えいたします

【雑学コラムお題の答え】
鳥取県 (二十世紀梨だけなら1位)

RMGT-CSPI

ともに創る印刷の未来



RMGT-CSPIが
SDGs達成をアシスト



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

